



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 ラクサス・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 288A URL <https://corp.laxus.co/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）高橋 啓介
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 （氏名）中尾 聡志 TEL (082) 236-3801
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	519	△8.1	63	+36.7	55	+77.7	36	△8.5
2026年3月期第1四半期	565	—	46	—	31	—	39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.41	1.41
2026年3月期第1四半期	1.55	1.53

（注）当社は、2025年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,328	3,134	72.4
2026年3月期	4,364	3,085	70.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 3,134百万円 2026年3月期 3,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2027年3月期の配当予想については未定です。

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	1,127	3.1	118	131.6	98	71.2	64	38.6	2.48
通期	2,546	11.6	295	59.5	255	34.3	152	55.1	5.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	25,962,883株	2026年3月期	25,836,783株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	25,879,980株	2026年3月期1Q	25,679,569株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間において、当社はコアビジネスであるブランドバッグのサブスクリプション型シェアリングサービス「ラクサス」において、獲得戦略を従来の“量”から“質”へと転換し、高収益な事業構造へのシフトを推進いたしました。

広告投資面では、既存販路の効率化により広告費を前期比37%抑制しつつ、CPAの改善を徹底いたしました。同時に、前事業年度末の好調な集客趨勢を背景に、確度の高い運用媒体を中心に堅調に獲得を伸ばしながら、新しい取り組みにもトライアルをし、高効率な顧客獲得を実現しております。

また、継続率（チャーン率）の良化に向けて、12ヵ月未満ユーザーへのLTV向上施策（ラクサスキャッシュや長期利用プラン等）の強化、キズ補償制度の拡充、AIを活用したおすすめ機能やUI改善などのアプリ改修に継続して取り組んでまいりました。

さらに、「借りたいバッグが借りられる」豊富な在庫体制を確立するとともに、新たに「プレミアムバッグ」の貸し出しを開始いたしました。これにより顧客の体験価値（満足度）向上とARPU（顧客平均単価）の上昇を同時に達成しております。

以上の取り組みの結果、重要なKPIである顧客別単価は、当第1四半期平均単価が8,680円と、前期末から好調な新規契約の増加により単価が低い3か月以内ユーザーが増えたことが要因で、前年同期と比較して359円減少

（2026年3月期第1四半期平均単価9,039円）しており、契約数（ダブルプラン含む）は17,245件と、プラン改定以降初めて前年同四半期（17,048件）を上回っております。

バッグ販売におきましては、売上高は前年同期比81%となりました。これは、収益性の向上を目指し、相対的に利益率の低いBtoB販売を抑制したことによるものです。一方で、より利益率の高い試用販売サービス「買えちゃうラクサス」において高額商品の販売を開始したことで同サービスの売上・利益が大きく増加したほか、「ラクサス表参道店」での対面販売も伸長しており、高付加価値な販売チャネルへのシフトが着実に進んでおります。

さらに当社は、保有する国内最大級のバッグ資産を活かし、事業基盤の拡張と収益機会の最大化に向けたモデルの深化に取り組んでおります。自社サービスである「シェアリング」を主軸としつつ、当社のシェアリング機能を外部へOEM提供する「ShaaS (Sharing as a Service)」、新たな顧客体験を提供するスマートキープ型の新サービス「ラクモチ (Lax-mochi)」の育成、そして「EC連携」などを横断的に組み合わせることで、各バッグ資産の収益機会を最大化してまいります。この一環として、在庫共有システムを通じて外部ECプラットフォーム等と連携させる取り組みを6月より本格的に開始し、キャッシュ回収サイクルの短期化も推進しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は519,144千円（前年同四半期比8.1%減）、営業利益は63,584千円（同36.7%増）、経常利益は55,168千円（同77.7%増）、四半期純利益は36,435千円（同8.5%減）となりました。

なお、当社は、ラクサス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,482,441千円となり、前事業年度末に比べ124,459千円減少いたしました。これは主にバッグ仕入の支払等により現金及び預金が79,384千円減少したことによるものであります。固定資産は2,845,807千円となり、前事業年度末に比べ88,565千円増加いたしました。これは主にレンタル用バッグの仕入を行ったことからレンタル資産が105,534千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,328,249千円となり、前事業年度末に比べ35,894千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は589,127千円となり、前事業年度末に比べ23,211千円減少いたしました。これは主に期末に集中した取引の支払が完了し未払金が27,102千円減少したことによるものであります。固定負債は604,228千円となり、前事業年度末に比べ61,602千円減少いたしました。これは主に長期借入金が60,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,193,356千円となり、前事業年度末に比べ84,813千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は3,134,893千円となり、前事業年度末と比べ48,918千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が36,435千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.4%（前事業年度末は70.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日公表の「2026年3月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を行うことはお控えくださるようお願いいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,518	1,101,134
売掛金	152,453	128,668
リース債権	146,061	155,048
商品	66,338	71,954
その他	87,464	53,822
貸倒引当金	△25,935	△28,186
流動資産合計	1,606,901	1,482,441
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	2,601,267	2,706,802
その他（純額）	63,792	53,386
有形固定資産合計	2,665,060	2,760,189
投資その他の資産	92,181	85,618
固定資産合計	2,757,241	2,845,807
資産合計	4,364,143	4,328,249

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	262,244	253,913
未払金	112,676	85,573
未払法人税等	6,420	15,189
賞与引当金	1,598	1,416
ポイント引当金	18,427	18,117
その他	110,971	114,916
流動負債合計	612,338	589,127
固定負債		
長期借入金	660,000	600,000
退職給付引当金	5,830	4,228
固定負債合計	665,830	604,228
負債合計	1,278,169	1,193,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,676,756	1,682,998
資本剰余金	1,661,193	1,667,434
利益剰余金	△251,975	△215,539
株主資本合計	3,085,974	3,134,893
純資産合計	3,085,974	3,134,893
負債純資産合計	4,364,143	4,328,249

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	565,159	519,144
売上原価	144,514	144,345
売上総利益	420,644	374,799
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	724	1,629
繰延リース利益繰入額	1,338	3,479
売上利益調整額	△613	△1,849
差引売上総利益	420,031	372,949
販売費及び一般管理費	373,509	309,365
営業利益	46,521	63,584
営業外収益		
受取補償金	5,739	4,232
その他	4,086	3,812
営業外収益合計	9,826	8,045
営業外費用		
支払利息	6,590	6,010
固定資産除却損	15,358	8,833
その他	3,359	1,618
営業外費用合計	25,308	16,462
経常利益	31,039	55,168
特別損失		
減損損失	2,890	3,310
特別損失合計	2,890	3,310
税引前四半期純利益	28,149	51,857
法人税、住民税及び事業税	2,387	9,179
法人税等調整額	△14,048	6,242
法人税等合計	△11,661	15,422
四半期純利益	39,810	36,435

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、ラクサス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	88,598	92,206